

【予告】 検査項目受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させてい
ただきたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます

敬白

記

- 中止理由：測定試薬製造中止による検査受託中止
- 実施日：2021年3月31日（水） ご依頼分をもって受託中止
- 受託中項目

項目コード	検査項目	備考
M739 9	HBs 抗原	測定試薬製造中止による受託中止
0593 3	HBs 抗原（CLEIA）	

■ 代替項目

項目コード	検査項目	備考
新規設定予定	HBs 抗原（HQ）定性	高感度試薬を使用した検査に変更
A021 7	HBs 抗原（HQ）（※1,2）	

※1：HBs抗原〔HQ〕は、既に受託可能ですが、現在は、所要日数を2～4日とさせて頂いております。（SRL外注）

※2：高感度試薬の為、検体採取にあたっては取り扱いにご注意ください

■HBs 抗原 (HQ) について

近年、強力な免疫抑制剤や化学療法の普及により治療効果が大幅に向上しましたが、一方で、HBV感染患者において、HBV再活性化が問題となっています。HBV再活性化による肝炎は重症化しやすく、リウマチ性疾患や悪性腫瘍などの原疾患の治療が困難となるため、予防が重要となってきます。

HBV再活性化の対策ガイドラインでは、治療前の全例に、HBs 抗原をスクリーニング検査することとされており、2020年の診療報酬改定において保険適用条件が追加されました。

2021年4月1日より全面切り替え（ラボ内検査）を実施します。

■診療報酬算定条件

免疫抑制剤の投与や化学療法を行う患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、当該治療開始前に「3」のHBs 抗原、HBs 抗体及び「6」のHBc 抗体半定量・定量を同時に測定した場合は、患者1人につきそれぞれ1回に限り算定できる。

■従来法と新規項目の比較

変更内容	新規項目	従来法（受託中止項目）
検査項目	HBs 抗原 [HQ]	HBs 抗原 [CLEIA]
項目コード	A021 7	0593 3
検体量 (mL)	血清 0.6	血清 0.5
基準値 (単位)	0.005 未満 (－) (IU/mL)	1.0 未満 (－) (C.O.I)
備考	本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください	

■参考文献

戸来 孝, 他: 医学と薬学72 (9) : 1569~1577, 2015. (検査方法参考文献)

厚生労働省研究班: 免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン 改訂版

日本リウマチ学会: B型肝炎ウイルス感染リウマチ性疾患患者への免疫抑制療法に関する提言 第4版改訂版